

## コムシティ 4月2日 ついにオープン!!

▶▶ 詳しくは2面へ



## 環境建設委員長に就任

本市市議会は、財政や文化・スポーツ、地域の事を所管する「総務財政委員会」、都市基盤、交通政策や消防を所管する「建築消防委員会」、市民の健康や子育て、病院などを所管する「保健病院委員会」、地域企業、観光や空港・港など、経済に関わる諸課題を所管する「経済港湾委員会」、小・中学校に関わる課題と、私たちが毎日口にする水に関わる「教育・水道委員会」、道路や公園、トンネル・橋の維持管理、省エネやリサイクル、ゴミや環境に関わる国際貢献などを所管する「環境建設委員会」の6つの常任委員会があります。

私は前任期の4年間は総務財政委員会に所属していましたが、今期より環境建設委員会の委員長を拝命致しました。

環境建設委員会は環境局と建設局の2つを所管する委員会です。環境局は、環境モデル都市、グリーンアジア国際戦略総合特区、スマートコミュニティなど本市が培ってきた

## 北九州市議会議員選挙後初の予算議会 平成25年2月議会 開催

1月27日に行われました北九州市議会議員選挙後初の予算議会が2月25日～3月27日の日程で開催されました。

一般会計約5400億円、特別会計5245億円、合計約1兆1800億円の平成25年度予算が提示され、承認されました。

前年度に比べ123億円(-2.2%)の減少となったものの、国の経済対策関連事業で2月に行われた補正予算を合わせると、前年度比16億円(0.5%)の減少にとどめ、前年度並みの予算規模を維持しました。

収支改善目標は67億円です。指定管理制度をすすめるなど事務事業の見直しを行い歳出を抑制する一方、市保有施設の売却や余剰金の活用により歳入増となる取り組みも行っていかねばなりません。

## 平成24年度 2月補正予算

2月補正予算は一般会計約158億円、特別会計81億円など、総額256億6770万円が計上されました。

国の経済対策に関連して公共事業が追加され、本市ではモノレールの長寿命化、市営住宅の改修、小中学校や幼稚園の耐震化などの公共施設の安全対策、道路や橋梁、トンネルなどの老朽化対策等と歩道整備など16億7500万円が計上されています。

環境改善の技術を次世代へと引継ぎ、新産業の創出を目指します。

一方、建設局は、道路や橋梁・トンネル、身近な歩道や公園などの整備と、公共施設マネジメントに基づくインフラの長寿命化など未来へ持続可能な整備を行います。

本市がこれまで培った環境問題に関する取り組みを次世代へ引き継ぎ、さらに発展させながら、一方で建設においては公共施設マネジメントに基づきインフラの長寿命化など、財政的に厳しい中でも持続可能な街づくり、課題解決に向け、委員長としてしっかり取り組んでまいります。



## 市民生活の安心・安全のため 防犯カメラを設置

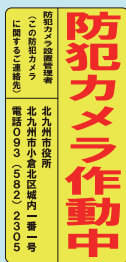
本市は、3月末より主要幹線道路沿いの市内20箇所に78台、小倉北区・八幡西区の繁華街に計80箇所に80台の防犯カメラを設置しました。これにより各種犯罪の発生抑止という点から大きな期待がもてます。しかし一方では、プライバシーにも配慮しなければなりません。

私も運用方法の在り方や、ルール、プライバシーや捜査などでの使われ方についても注意が必要で、運用マニュアルを作成するべきであると指摘をしてきました。

市担当者によると、撮影映像は、第三者への情報提供(犯罪捜査のため警察等、正式な手続きを経た場合などは除く)や常時監視を行わずに、必要時に指定された職員のみが操作を実施することでプライバシーに配慮した管理運用を行うということです。



カメラ設置箇所にはプレート(右)を掲示



## 市長に聞きました！

### 平成25年度 予算特別委員会 市長質疑

様々な事情により、家庭で生活できなくなった子供を迎え入れ、原則18歳まで養育する里親制度。本市では平成23年度には75世帯の登録があります。

平成23年に東京都杉並区で里親による児童虐待死を招いた事件は、里親が本音を相談することができず疲弊した事が要因の一つとされ、里親の精神的なサポートを行う必要性が指摘されています。今回の市長質疑では、この里親制度についての質問を行いました。

**<大久保>** 悩みを抱え、里親をやめてしまう前に、里親や里子に対するサポートやケアが必要であります。現在どのような対応をしていますか？

里親を増やす取り組みは、里親とはどういうものかをより多くの人に知ってもらわなければなりません。既に行われている一日里親や、できるときにできる事を行う半里親制度などを導入することで関わる人を増やす工夫が求められますが、見解を伺います。

**<市長>** 市としては里親が悩みを抱え込むことのないように、子ども総合センター職員による定期的な家庭訪問や里親サロン、先輩里親の相談体制の確保や一時的に里子を預かる制度などを行っている。一日里親は児童福祉法に定められた里親とは違うが、要保護児童に対する熱意や理解、愛情は共通しており、要保護児童に感心を持ってもらうことで里親制度の普及につながっていくものと考えている。引き続き更に工夫して里親制度の普及に理解を深め、登録していただけるように努めて参ります。

## 新球技場が 設計変更になりました

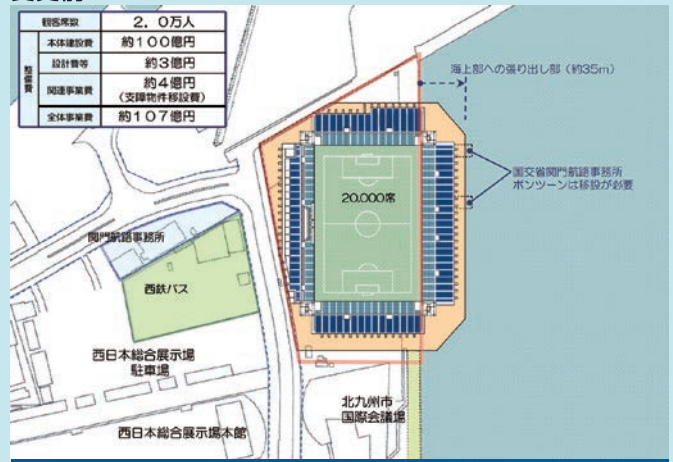
小倉北区浅野地区へ建設が検討されている新球技場ですが、2月28日から2度目の公共事業の評価に関する検討会議が行われました。

この中で当初の海上に設けられるスタンドは工期が大幅に遅れる恐れがあったため設計が変更され、道路の移設を行い陸上部分へ移設する案が提示されました。これにより、当初100億円強と想定された総事業費を88億円程度(新球技場本体建設費約76億)まで圧縮することができました。さらに、スポーツ振興くじ(TOTO)からの助成金が30億円を上限として見込まれる事から、さらなる初期投資費用の圧縮が期待されます。

さらに年間21万人の利用と、10.3億円の消費経済効果が見込まれることから、市の公共事業評価検討会議は事業の実施に対して、「実施すべき」との評価を行いました。

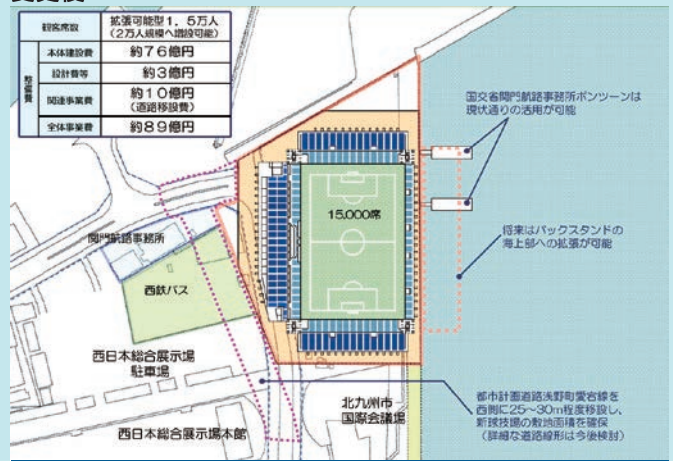
これまで身の丈のサイズに合わせた施設にすべきと議会などでも訴えてきましたが、今回の設計変更とスポーツ振興くじの助成金など、工夫をする事でかなりの事業費が圧縮された事は大きく評価されると思います。運営の面からも、いっそうの工夫を求め、提案を行っていきたいと思います。

### 変更前



### 海上活用案

### 変更後



### 道路移設を伴う陸上部案

- 2日 党総支部常任幹事会
- 3日 地域行事
- 4日 党総支部大会準備会
- 6日 陳情視察
- 8日 市議会会派 会議
- 10日 北九州市50周年記念式典・祝賀会  
金石交流会
- 12日 市議会 議員総会
- 15日 党総支部大会準備会
- 16日 党総支部常任幹事会
- 17日 第4回ゆるキャラミーティング
- 19日 市議会会派 会議  
会派別勉強会
- 20日 市議会会派 会議  
会派別勉強会
- 21日 食育授業(八児小学校)
- 23日 党総支部定期大会
- 24日 タカミヤマリバー財団  
第17回 環境保護シンポジウム
- 25日 北九州市議会 2月定例会 開会日  
市議会 本会議
- 26日 市議会 本会議
- 27日 市議会 会派勉強会

- 6日 市議会 本会議
- 7日 市議会 本会議
- 8日 市議会 本会議
- 9日 地方財政学習会  
ゴールド免許センター視察
- 11日 市議会 本会議
- 12日 市議会 本会議
- 13日 市議会 常任委員会
- 14日 市議会 常任委員会
- 15日 市議会 本会議・予算特別委員会
- 16日 党県連臨時大会
- 17日 穴生市民センター会館50周年式典
- 18日 市議会 予算特別委員会
- 19日 市議会 予算特別委員会
- 21日 市議会 予算特別委員会
- 22日 市議会 予算特別委員会
- 23日 党総支部常任幹事会
- 24日 池坊八幡支部80周年祝賀会
- 25日 市議会 予算特別委員会  
党県連広報委員会
- 27日 市議会 常任委員会  
党県連団体交流委員会
- 28日 市議会 予算特別委員会
- 29日 市議会 本会議 閉会  
コムシティ内覧会
- 30日 響灘烏がさえずる緑の回廊植樹会

# 再生コムシティがオープン



再生へ向け改修工事が進んでいたコムシティが、4月2日に再オープンしました。

商業テナント等が入居する「生活利便施設」、八幡西生涯学習総合センターをはじめ、小倉北区から移転する市民活動サポートセンター、八幡東区から移転される北九州国際交流協会などで構成する「北九州ひとみらいプレイス」など一部施設が先行オープンしました。

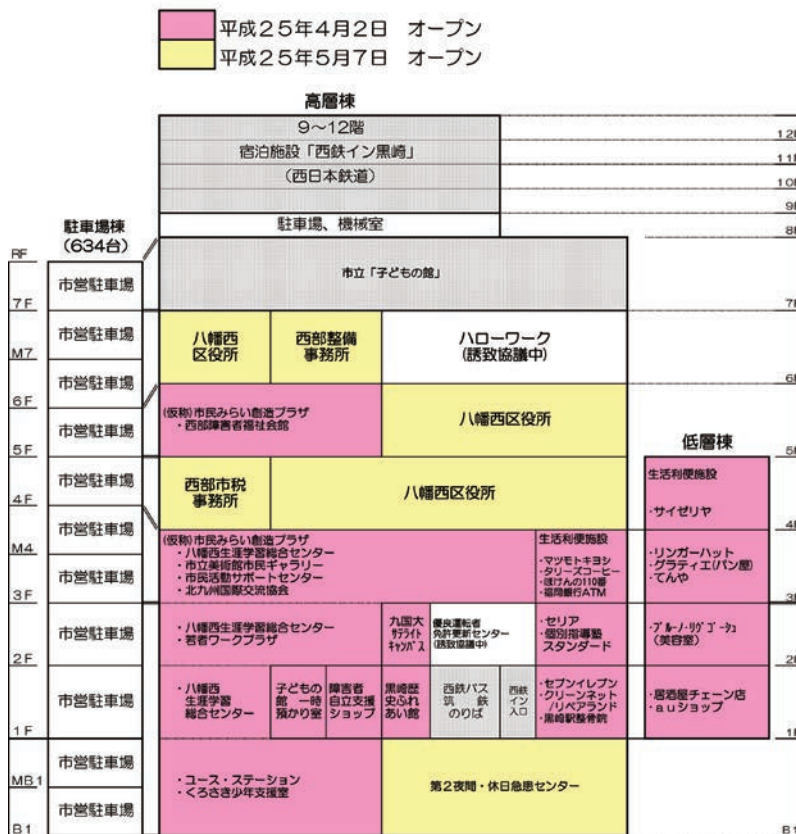
5月7日には八幡西区役所、西部市税事務所、第二夜間休日急患センターなどの「広域行政サービス施設」がオープンし、北九州市の西側の拠点として、駅前での行政機関の集約により、利便性が格段に向上することになります。

## ハローワーク・ゴールド免許センターもそれぞれ開設へ向けて準備がすすむ

本市が国・及び県へコムシティへの誘致交渉を行ってきたハローワーク、ゴールド免許センターに関して、両施設の施設整備経費、移転経費が盛り込まれ、国・県それぞれの予算成立後に開設へ向けて動き出します。ハローワークは平成25年予算成立後の早い時期にオープンの予定です。

ゴールド免許センターについては、地元八幡西区の岩元県議と若松区の野村県議とともにこれまで県・市両議会の中で、この施設の誘致にむけて取り組みを行ってきました。これまでの成果と、県・市の関係者の方々の尽力により、平成26年4月オープンへ向けての準備費として、県で約1600万円の予算が計上されました。

コムシティ概要図





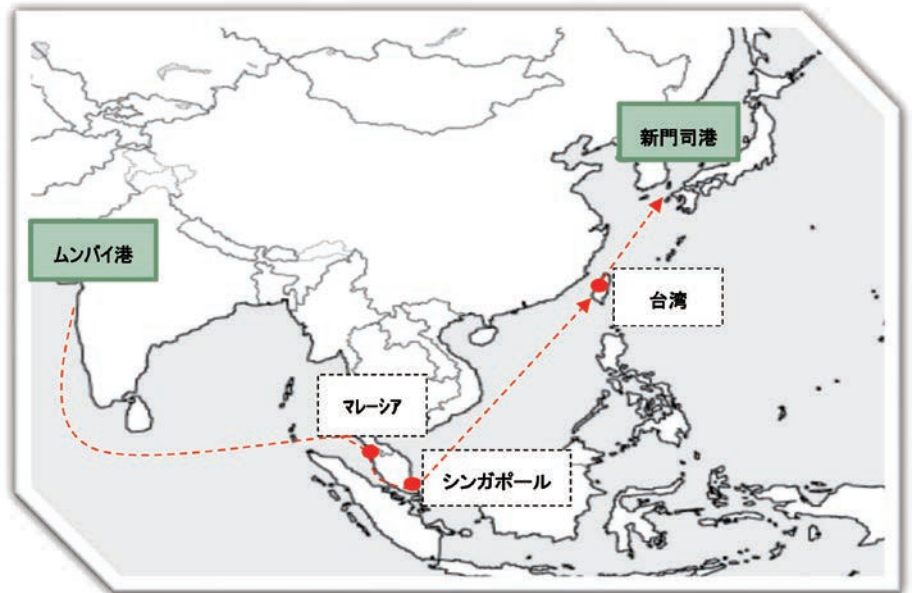
## 取り組みが進む、グリーンアジア国際戦略総合特区 インドから廃プリント基盤を 回収・世界初

北九州市にある日本磁力選鉱は、インドでのパートナー企業への技術移転や共同事業化を実現し、バーゼル条約に基づき、世界で初めてインドから廃プリント基板の輸入を開始しました。その基盤から希少なレアメタルを取り出すというものです。

バーゼル条約は1992年に発効された国際条約です。廃棄物の輸出入に対して、通過国、輸出者等の責任を明確にし、厳正な審査を行う事で不正な輸出入を防ぐもので、日本は1993年に加盟しています。この条約をクリアして廃棄物を輸出入することは非常に複雑

かつハードルが高いことでした。そこで、北九州市が設置したアジア低炭素化センターは、環境省・経済産業省、さらにインドの環境森林省、船舶が通過する国々の政府機関と折衝を重ねるなど、全面的な協力を行い、今回の事業開始に至りました。


輸入された廃基盤は、北九州市若松区のエコタウン内で処理され貴金属およびレアメタルを濃縮回収する計画です。そして、本市特区構想の中核的な柱である「レアメタル回収拠点事業」の前進に大きく踏み出しました。



### 告知

**「大久保むがと座談会」を行います**  
「市政について皆様のご意見をお聞かせ下さい」  
**5月18日(土) 13:00~**  
定員: 10名程度(先着順)  
※どなたでも参加できます。参加ご希望の方は5月15日までに下記TELへご連絡をお願いします。  
大久保むが事務所 TEL 093-863-5530

本年1月に行われた北九州市議会議員選挙におきまして、おかげさまで2期目の当選を果たさせていただきました。今日までいただきました力強いご声援に心から感謝申し上げます。  
これからも、「人を大事に」「人を守り」「人を育てる」、この想いを大切に、2期目も皆様の声をしっかりと議会・行政へと届けて参る決意です。



## 北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際商学部卒業後、平成12年から衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー 2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属、民主党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's work」理事。

<趣味> 北九州市論・ピアノ・ギター・釣り  
<尊敬する人> 土光敏夫  
<好きな食べ物> カレー、焼き芋、うどん、カツ丼  
<好きな言葉> 少年老い易く学成り難し 一寸の光陰軽んずべからず

### 大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2  
Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531  
http://www.mugamuga.net/  
E-mail yahatanisi@mugamuga.net

